

安全運転

ほっと NEWS
2013年1月号

今月のクイズ

信号や優先道路の標識が無く、両方の道幅が同じ交差点で、他車と交差する際に優先して通行できるのは、次のどれになるでしょうか？（答えは裏面）

- ① 左からきた車が優先
- ② 右からきた車が優先
- ③ 優先される車はなく、互いにゆすり合う



TOKIO MARINE
NICHIDO

住宅街での安全走行

住宅街の道路を走行していると、子どもの飛び出しや自転車の危ない運転にヒヤッとすることがあります。車の通行が主体となる幹線道路と違い、住宅街の道路は住人の生活道路でもあるため、子どもからお年寄りまで様々な人が道路を使います。

今月は、人と車が混在する住宅街の道路で、どのような事故が起きているのか、どのようなことに注意すれば事故は防げるのかをみてみましょう。

住宅街は死傷事故件数が多く、幹線道路の2倍です

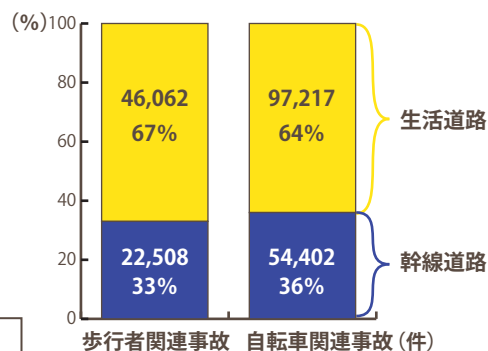
平成22年中の交通事故発生状況（※1）をみると、死傷事故件数のうち、幹線道路は358,578件、生活道路は354,362件で約半々となっており、生活道路で発生する事故は決して少なくありません。

また、歩行者や自転車関連の死傷事故件数（右図）をみると、生活道路における死傷事故件数は幹線道路の約2倍も高いことがわかります。車と歩行者や自転車が一緒に利用する住宅街の道路では、周囲に十分注意を配らないと容易に接触する危険性があり、車のスピードが出ていなくても死傷者を出す事故に繋がる可能性が高くなります。

- ・ 幹線道路：一般国道、主要地方道、一般都道府県道
- ・ 生活道路：市町村道、その他（農道、私道など道路法上の道路以外の道路など）

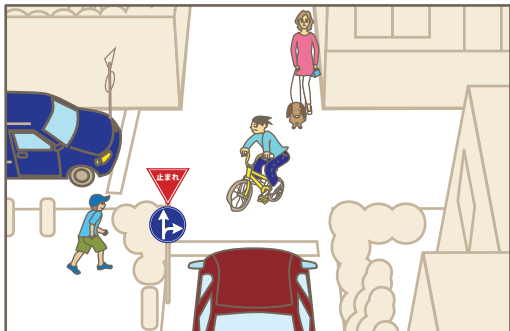
（※1と右図：国土交通省 HP「<http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/genjyo.html>」を参照）

幹線道路・生活道路別の歩行者・自転車関連の死傷事故件数（平成22年中）



出会い頭事故が多いため、一時停止と周囲確認が重要です

住宅街では、どのような種類の事故が多く起きているのでしょうか？平成23年中に生活道路で起きた事故の種類のうち最も多いのが、「出会い頭」で全体の約4割（※2）を占めています。そのため、停止線のあるところや、見通しの悪いところでの一時停止を徹底することが住宅街での事故防止のために重要です。



また、住宅街の道路は、ドライバーの自宅があるなど通り慣れている道だったり、混んでいる幹線道路の抜け道として利用されたりする場合があります。このような道路では、「あと少しで家に着く」という気の緩みが起きたり、幹線道路でのスピードのまま走行する車があったりするなど、事故を引き起こす要因が多数あります。

住宅街は信号が無く見通しの悪い交差点や、道幅が狭く歩行者と車を分けするガードレールが無い箇所も多いので、安全を確認しながら十分に速度を落として走行するようにしましょう。

（※2：公益財団法人交通事故総合分析センター資料を基に国土交通省国土技術政策総合研究所が作成したデータを参照）

住宅街での走行で危険と思われるポイントをみてみましょう

住宅街の道路では、どのようなことに注意すれば安全に走行できるのでしょうか。下の場面を参考に危険と思われるポイントをみてみましょう。

状況 手前にあるAの自動車が、幹線道路へ出ようと住宅街を通行しています。

停止車両の向こう側にいる人

停止している車の脇を通過するときには、すぐに止まれるくらいにスピードを落とし、安全を確認して通行しましょう。

交差する車

優先道路の標識が無く、交差する道幅が同じ場合、自車からみて左から来る車が交差点を優先して通行することができます。自車を停止させて左から来る車を優先しましょう。

幹線道路に出るとき

停止線で必ず車を止めて、安全確認を行いましょう。建物などで視界が悪いときは、いつでも止まれるように足はブレーキの上に置き、歩道や幹線道路を見渡せるところまでゆっくりと進み、必ず安全を確認してから幹線道路に出ましょう。

散歩中の人と犬

散歩させている犬が突然走り出し、車の前に飛び出してくる可能性があります。スピードを落として通行しましょう。

自転車の飛び出し

自転車が交差点に飛び出してくる危険性があります。停止線で車を止め、自転車の行動に注意しましょう。

停止線

その場所に停止線が引かれているのには、必ず意味があります。停止線では車を停止させ、周囲の安全を確認しましょう。

早めのライト

夕方から夜にかけては、学校帰りや買い物の人などで住宅街は人通りが多くなります。薄暗く人や車が見えにくくなる時間帯でもありますので、早めにライトを点灯しましょう。

遊んでいる子ども

遊んでいる子どもが、車の前に飛び出してくる可能性があります。特に公園付近では、スピードを落として通行しましょう。

運転席からの死角

人と車が近接していることが多いので、運転席からの死角に「何か潜んでいるかもしれない」と疑いながら通行しましょう。

住宅街を走行するときは、停止線や見通しの悪いところで必ず一時停止を行い、安全を確認しながら十分に速度を落として運転しましょう。

今月のクイズの答え

①左からきた車が優先
(道路交通法第36条第1項第2号)

ご用命・ご相談は...

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO., LTD

〒950-0087
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL http://www.hokensystem.co.jp



東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内 1-2-1
TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590
URL http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/

担当営業課